

序 文

本論は訓大調査研究部の木村研究員の指導によって纏めた学生の卒業論文（第八期生貴村正）である。徒弟学校制度に熟知していただける方からみれば、不儀な点も少なくないと思われるので御叱正賜われれば幸である。

なお、卒業研究を調査研究部で行なう事を希望する学生がままあるが、業務に支障のない限り指導には当っており、優れたものは当部調査研究資料として公刊する予定である。本論も、わが国職業訓練の理解、とりわけ公共職業訓練のあり方を考える上で役に立つものと思う。

調 査 研 究 部 長

宗 像 元 介